

## I 標準的なカリキュラム案の開発過程

### 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の目的・目標

目的

我が国において日常的な生活を営む「生活者としての外国人」が日本語で意思疎通を図り、生活できるようになること

目標

- ・日本語を使って
- (1) 健康かつ安全に生活を送ることができるようにすること
- (2) 自立した生活を送ることができるようにすること
- (3) 相互理解を図り、社会の一員として生活を送ることができるようにすること
- (4) 文化的な生活を送ることができるようにすること

生活場面から切り離された抽象的な言語体系を学ぶのではなく、上記の目的・目標を達成するために、「生活者としての外国人」が日本で生活する上で最低限必要とされる生活上の行為を日本語で行えるようにするための標準的なカリキュラム案を以下の手順で開発

- ①生活上の行為の整理・選択⇒②生活上の行為に対応する学習項目の記述⇒③学習項目の学習時間、順序についての検討

## II 標準的なカリキュラム案の内容について

【基本的な考え】…各地域において現場の実情に沿った日本語教育を具体的に編成・実施する際に参考となるもの

- ①学習項目………・来日間もない外国人が生活上の基盤を形成する上で必要な生活上の行為、又は安全にかかわり緊急性がある生活上の行為を日本語で行えるようにするためのもの（→次ページ参照）
  - ・学習者のニーズに応じて必要な部分を選択すべきもの
- ②学習順序………・積上げ型の学習を前提としておらず、学習者のニーズ、優先順位に応じて順序を決めるべきもの
- ③学習時間………・標準的なカリキュラム案の単位を参考に時間配分を行うことを期待（全体で30単位／60時間が目安）

## III 今後の課題

具体的な活用の実践を通じたカリキュラム案の充実、使い方の研修及び人材養成に関する検討を行うとともに、今後さらに、「教材例の作成」「指導方法」「日本語能力の評価」「指導力の評価」について検討が必要

## IV 「生活者としての外国人」に対する日本語教育の標準的なカリキュラム案 [本体]

- 1 標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の事例
- 2 生活上の行為の事例に対応する学習項目の要素
- 3 社会・文化的情報

## V 標準的なカリキュラム案本体の活用例（実践例）

標準的なカリキュラム案の活用方法を具体的に示すため、カリキュラム案に基づく教室活動を例示（7事例）

（参考資料）

### I 情報リソース

- 1 教室活動の方法の例
- 2 教室活動を行う際の参考資料（例）

### II 基礎資料

# 標準的なカリキュラム案における学習内容

## 生活上の行為

「生活者としての外国人」が日本語で行えるようになることが期待される行為。

### 標準的なカリキュラム案で扱う生活上の行為の大枠

(全体で30単位/60時間が目安)

- 健康・安全に暮らす (7単位)
  - ・ 健康を保つ [3.5単位]
  - ・ 安全を守る [3.5単位]
- 住居を確保・維持する (2単位)
  - ・ 住居を確保する [1.5単位]
  - ・ 住環境を整える [0.5単位]
- 消費活動を行う (4.5単位)
  - ・ 物品購入・サービスを利用する [3単位]
  - ・ お金を管理する [1.5単位]
- 目的地に移動する (3.5単位)
  - ・ 公共交通機関を利用する [2.5単位]
  - ・ 自力で移動する [1単位]
- 人とかかわる (2.5単位)
  - ・ 他者との関係を円滑にする [2.5単位]
- 社会の一員となる (4.5単位)
  - ・ 地域・社会のルール・マナーを守る [2.5単位]
  - ・ 地域社会に参加する [2単位]
- 自身を豊かにする (2単位)
  - ・ 余暇を楽しむ [2単位]
- 情報を収集・発信する (4単位)
  - ・ 通信する [3.5単位]
  - ・ マスメディアを利用する [0.5単位]

個々の生活上の行為の事例について学習項目の要素を記述

## 学習項目

生活上の行為を日本語で行えるようになるために必要な事項。以下の要素からなる。

### 学習項目の要素

例：生活上の行為「健康を保つ」の事例「医師の診察を受ける」の学習項目の要素

- ①能力記述 (できるようになることが期待されること)
  - ・ 症状を伝えることができる
  - ・ 医師の診察, 指示が理解できる
- ②場面(場所, 相手, 状況・動機)
  - ・ 場所: 病院    相手: 医師
  - ・ 状況, 動機: 診察を受ける

### ③やり取りの例

(典型的なコミュニケーションの例)

・A: どうしましたか。  
・B: 昨日から頭が痛いんです。  
・A: 口を大きく開けてください。  
かぜですね。  
5日分の薬を出しておきます。

### ④機能 (それぞれの発話の働き)

- ・ 情報要求
- ・ 情報提供
- ・ 単独行為要求...

### ⑤文法 (やり取りの例に現れる基礎的な文法・文型)

- ・ 疑問詞「どう」,
- ・ 終助詞「か(疑問)」...

### ⑥語彙 (やり取りの例に現れる単語・表現)

- ・ どう, する, 昨日, 頭, 痛い...

### ⑦四技能 (やり取りの例において必要とされる技能)

- ・ 話す【○】, 聞く【○】, 読む【-】, 書く【-】